

大島まり子 ピアノ・リサイタル

*Mariko Ohshima
Piano Recital*

～春に寄す～

2021年5月5日(水・祝日)
14:00 開演(13:30 開場)

鎌倉芸術館小ホール

モーツアルト
ロンド ニ長調 K.V.485

グリーグ

《叙情小曲集》から
春に寄す Op.43-6
小人の行進 Op.54-3

ショパン

ワルツ 豊ハ短調 Op.64-2
バラード第1番 ト短調 Op.23

リスト

巡礼の年 第1年《スイス》S160から
オーベルマンの谷

コンソレーション第3番 S172

《パンガニーニ大練習曲集》S141から
第3番 ラ・カンパネラ

前売開始 2月2日

一般 ¥2,000／学生 ¥1,000 (全自由席・当日券あり)

チケット取扱：鎌倉芸術館チケットセンター 0120-1192-40

マネジメント：チェチリア工房 0463-71-7611

主催：Kamakura Music Planning

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



大島まり子 ピアノリサイタル

Mariko Ohshima
Piano Recital

～春に寄す～

～春に寄す～

今回2年ぶりとなります鎌倉芸術館でのリサイタルでは、～春に寄す～と題して開催いたします。うららかな春の午後に楽しんで頂ける曲をと、思いながら曲を選びました。

前半はモーツアルトの天真爛漫なロンド、グリーグの春に寄すでは、北欧ならではの哀愁の漂う美しい旋律を。そしてショパンの珠玉の作品の中でも特に傑作とされるバラード第1番。

後半はリストの心の内面を映した作品とも思える巡礼の年からオーベルマンの谷、コンソレーション第3番、そしてパガニーニ大練習曲集から人気の高いラ・カンパネラを。これらの作品を曲目解説のトークを交えながら演奏させて頂きます。また舞台は前回に引き続き、フラワー・アーティスト、アクセントグリーン代表の山本修子氏に飾っていただきます。舞台衣装制作は、un:tenの伊東純子氏です。

皆様とお会いできます事を楽しみにしております

大島まり子(ピアノ) Mariko Ohshima

1953年生まれ、東京都出身。大阪府立豊中高等学校、愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ科を卒業。1976～2013年 神奈川県の音楽教諭として、県立川崎北高等学校、県立舞岡高等学校、県立茅ヶ崎北陵高等学校、県立寒川高等学校にて奉職。音楽教育に携わると共に演奏活動をおこなう。1980年第一生命ホール(銀座)にてデビューリサイタルを開催。音楽の分野だけでなく、他の分野との融合を視野に入れた活動も積極的に行っており、2010年には絵画との融合という試みとして、コンサート「印象派とエコール・ド・パリの絵と共に」を横浜美術館でおこなった。2012年に出版された「日本の演奏家」(紀伊國屋書店)ではピアニストとして選出された。2016年夏にはオックスフォード大学内の、ヘンデルも演奏したヨーロッパ最古の音楽ホールと言われる Holywell Music Roomにおいて、東日本大震災復興支援チャリティーリサイタル開催。毎日の暮らしに寄り添う親しみやすい音楽を目指している。現在藤沢にてマドリガルピアノ教室(<http://www.madrigal-piano.net>)を主宰。

ジャンヌ・ボッセ、田原富子、井口秋子、高木幸三、大堀敦子、横山美里の各氏に師事。



鎌倉芸術館小ホールへのアクセス JR 大船駅(笠間口)から徒歩8分

この音乐会では、観客数を半分に減らし、国のガイドラインに沿ったコロナ対策を実施して公演を行います。